

活動名称 (40字以内)	～復興まちづくりのイベント運営体験～		
団体名等	釜石リージョナルコーディネーター協議会 (通称:釜援隊)		
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接(遠隔)
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		2 人
	<input checked="" type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019/8/19(月) ~ 9/1(日)	主な活動場所	岩手県釜石市
	希望者は、期間延長も可能。		
目的	釜石リージョナルコーディネーター協議会(釜援隊)の活動に参加し、防災に係る事業運営について各種提案を行う。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>釜石リージョナルコーディネーター協議会(釜援隊)は、釜石市ならびに一般社団法人RCFが国の「復興支援員」制度を用いて設置した組織であり、主として市外から「釜石リージョナルコーディネーター」を募集し、市役所、市内NPO等と協働して業務支援を実施している。本プログラムでは、学生は釜石リージョナルコーディネーターの業務補助として参加する。</p> <p>本年度は主として、隊員の協働先である、釜石市総務企画部総合政策課震災検証室が所管する、釜石市が設置し2019年3月に供用開始した「うのすまい・トモス」のうち、</p> <ol style="list-style-type: none"> 津波伝承施設である「いのちをつなぐ未来館」(指定管理者:釜石DMC)に於ける震災時の子どもたちの避難行動「釜石のできごと(奇跡)」を追体験する「防災学習プログラム」に関して、周辺の関連施設や関係団体との連携方法についての調査・提案を試みる。 防災学習プログラム参加者アンケートの分析。 釜石市防災市民憲章の市内外への普及・啓発活動の検討・提案を行う。 <p>その他、他事業のイベント等の運営補助、学習支援、市長表敬訪問(予定)、市内見学等々を行う場合もあります。</p> <p>選考方法補足: 必要な場合は、書類選考に加えて面接の可能性あり。</p>		
備考	<p>・事前オリエンテーションの出席必須(Skypeで釜石と繋がります。)</p> <p>日程は、参加者決定後連絡(本郷キャンパス学生支援センター2F会議室)</p>		
参加するための費用*	内訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 実費 円 (食費) 実費 円 () 円 計 円	宿泊先: 応急仮設住宅使用申請中。この場合、家賃は不要ですが、水光熱費、市内交通費は各自負担。寝具はレンタル可(有料: 期間中5,000円程度)	
		奨励金額	26,000 円
ウェブサイト等	釜援隊: http://kamaentai.org/ https://regional-coordinator.org/ 釜石市: http://www.city.kamaishi.iwate.jp/		